

2021年7月6日

森林環境教育 福智町立上野小学校

(4年生14人：クラフト作りと森の話)

福智山を望む最新の装備を施した上野小学校で4年生14人と先生3名の支援を受けながら、森林インストラクターのスタッフ4名でクラフト作りと「森の話」を中心に1時間半ほど楽しく遊びました。

はじめに「森林インストラクター会って、知ってる？」から入り、「森の案内人だよ」と当会を説明した後、身近なところで見かける野鳥のクイズから始めました。身近な野鳥はスズメ、カラス、ヒバリを取り上げましたが、皆さん、ヒバリをあまり知りませんでした。野鳥の歩き方を問うクイズでしたが、いつも見てはいるのかもしれませんが、意外と歩き方までは見てなくて「え、そう」などの声が聞こえてきましたので、初めて知ったようでした。身近な自然でも知らないことが多いようです。お互い心が打ち解けたところでクラフト作りを始めました。



グルーガンを使っての工作作りは初めてのようで、最初、勝手がわからなく、もじもじしていましたが、先生、スタッフが「このように付けるの。わかった?」、「わかった、わかった」の音が周りから聞こえてきて、本番が始まりました。この時期、新鮮な材料がなかったのですが、スタッフから「カシワバアジサイ」が準備され、特に、女の子に喜ばれ、作品の中に加わり、やさしさを出した作品になっていました。男の子は大きな台座に大きな枝を取り付け、勇ましい姿の作品があちこちで生まれていました。



振り返りでは皆さん初めてのグルーガンを用いた工作に大変興味を持ったのか、「一つ欲しい、どうしてくつつくの?」などの質問を受けました。皆さん手を挙げて質問をしたかったようですが、時間の関係で次に移らせてもらいました。

「森の話」では、大きな模造紙に手書きの「森の働き」という題目で4年生がわかるように「日本の森林率」、「水の源を守る。そして水を貯めてゆっくり流す働き」、「大雨が降った時の様子」などを説明し、森林を大切にすることを教育し、本日の森林環境教育を終えました。(スタッフ：宮本、轟、高田、中村)

